

コロナ禍における本学の学生へのアンケート結果と 広島大学の対応について 【概要】

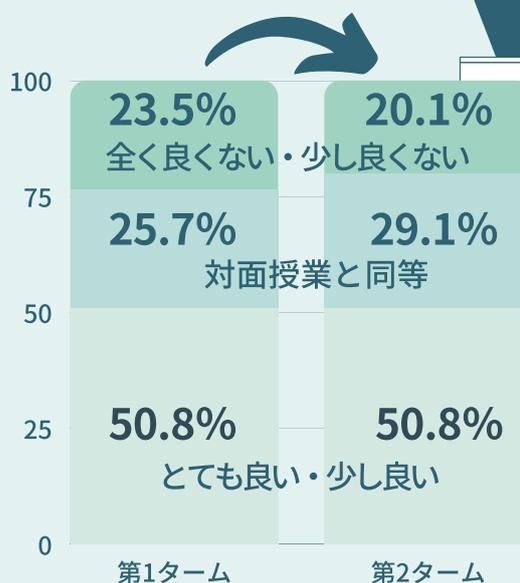
学生の皆さんの生活の様子を把握し、授業方法等の改善及び心身の健康維持に必要なサポートを充実させるため、学部生・大学院生・留学生等を対象にアンケートを実施しました。

自宅でオンライン授業が 受講可能な学生の割合



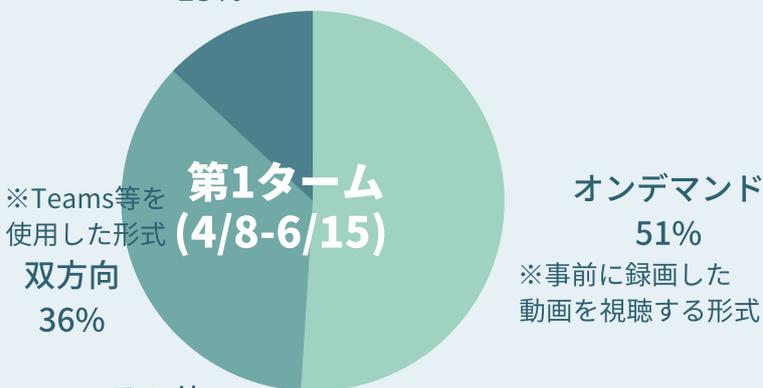
- 自宅にインターネット環境がない学生へ、無償でWi-Fiルーターの貸し出しを実施

オンライン授業の感想(全体)

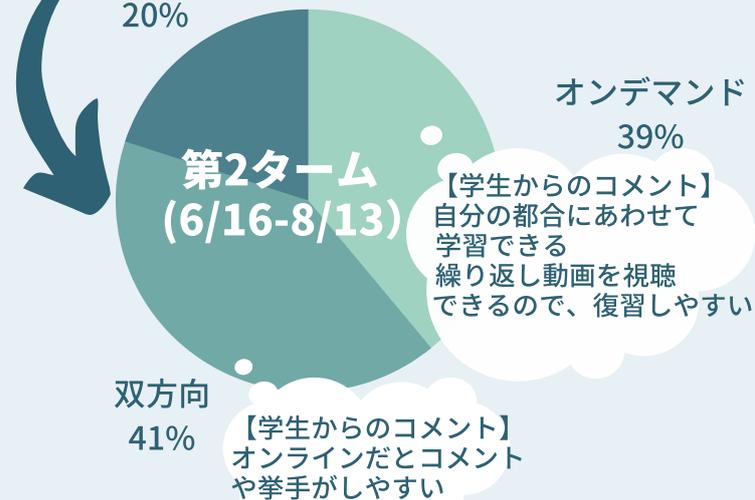


オンライン授業形態の変化(全体)

その他※対面や、オンデマンドと双方向を併用 13%



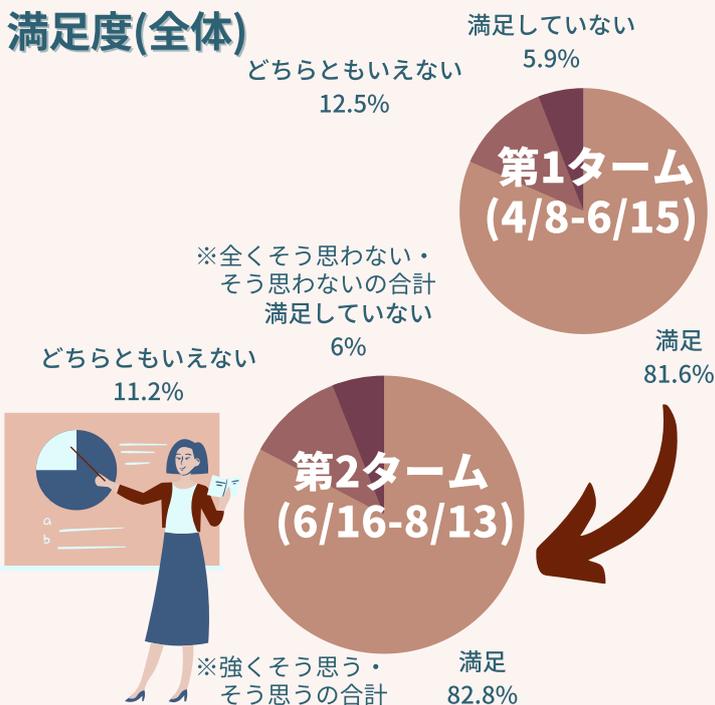
その他 20%



- 実験実習形式の教養教育科目では、双方向型が18%→32%へ増加
- 第2タームの実験実習形式の授業 対面の割合

教養教育科目 24%
学部専門科目 41%

満足度(全体)



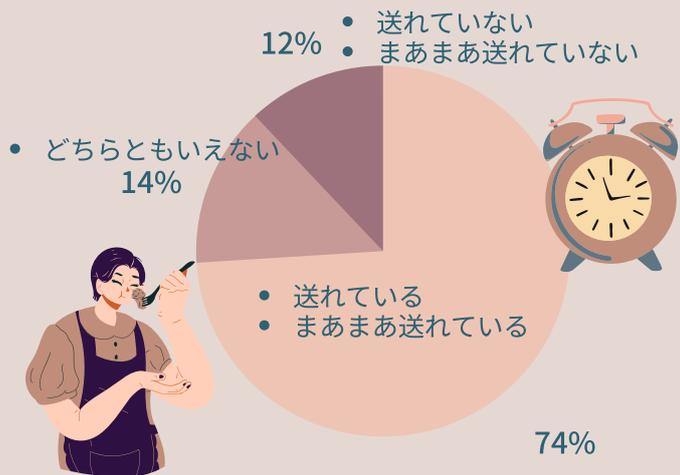
【概要とアンケート後の対応】

- 第1タームはオンライン授業を初めて行う教員も多かったが、学内での研修や経験の蓄積等により、工夫や改善が進んだ
- 今後も感染防止対策を徹底、対面とオンラインを併用し、目的や内容に応じてそれぞれの特徴を最大限活かした授業を展開

詳しくは、学生による授業改善アンケート(実施期間:2020.7.27-8.16)をご覧ください。
https://www.hiroshima-u.ac.jp/about/HU_self_evaluation/self_evaluation

広島大学の学生のコロナ禍における生活について

規則正しい生活が送れているか(全体)



- 生活時間に乱れのある学生は限定的
- 「規則正しい生活を送れている・まあまあ送れている」は、大学院生(83%)・留学生(86%)と比べると、学部生は71%と低め

平均睡眠時間(全体)

- 6~8時間が最も多く、全国平均並み
- 睡眠の質やリズムの大切さも呼びかけ



運動習慣(全体)

- 週1日以上1回30分程度運動をしている学生



全回答者のうち
70%

健康状態(複数回答)

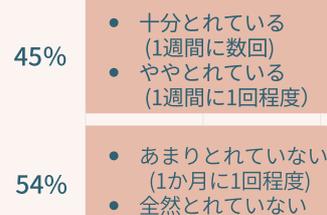
- 特に問題ない 71%
- 身体がだるい 10%
- 頭痛、肩こりがある 11%



- 気分が落ち込む 12%
- 孤独感や孤立感を感じる 11%
- 不安を感じる 17%

指導教員/チューターとのコミュニケーション

学部生

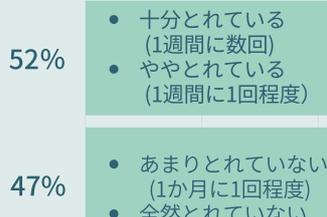


※1%・10月入学のため回答なし

- 大学院生の76%、留学生の83%は「十分とれている、ややとれている」と回答

同級生/友人とのコミュニケーション

学部生



※1%・10月入学のため回答なし

- 大学院生の66%、留学生の63%が「十分とれている、ややとれている」と回答

学生生活の悩み(複数回答)

	学部生	大学院生	留学生
将来(進路)のこと	36%	45%	43%
修学上のこと	30%	40%	50%
経済的なこと	11%	28%	37%

※項目を抜粋して掲載

【アンケート後の対応】

- 学生とのコミュニケーションを一層密かつ継続的に取るよう、チューター等へ緊急連絡
- 新入生と上級生との交流会を開催
- 各種相談窓口(心身の健康・学習支援等)の積極的な利用を呼びかけ
- 健康管理に関する情報発信等

今回の調査結果を受け、今後も学生の皆さんが安全に、また安心して大学生を送り、十分な学修の成果をあげられるよう、最大限務めていきます。